

これまで定時株主総会決議ご通知に同封して発送させていただいておりました「年次報告書」につきましては、本定時株主総会招集ご通知に統合しております。

トップメッセージ

「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ」を目指して活動してまいります

株主の皆様には、平素格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

第44期、当社グループは、中期方針である「高付加価値事業構造への挑戦と創造」をより一層推し進め、「ICTの発展をお客様価値向上に結びつけるイノベーション企業グループ」を目指し、「クラウド」「ロボットテクノロジー」「モバイル」をキーワードに、関連する技術とノウハウを組み合わせ、付加価値向上を実現するとともに、グローバル対応も強化してまいりました。

システム構築分野では、通信制御等の社会インフラ関連、自動車制御等の機械制御関連、ECサイト構築等のインターネットビジネス関連、教育関連分野、金融分野等、市場ニーズ・成長力の強い分野に経営資源を投入してまいりました。また、プロジェクト管理力・営業力の強化、先進技術分野での人材育成等を進め、引き続き付加価値・生産性・品質向上に取り組んでまいりました。

プロダクト・サービス分野では、当社のスマートドキュメントサービスである「moreNOTE」の拡販のため、販売代理店の拡充、各種プロモーション施策等、販売活動を強化したほか、ヒューマノイド・ロボット“PALRO”（パルロ）につきましても、各種展示会への出展やメディアの活用等、積極的な販促活動を進めてまいりました。

CSR活動としましては、「全日本ロボット相撲大会（25回目）」を開催し、参加者の皆様にロボットづくりを通じた研究意欲の向上と創造性発揮の場を提供いたしました。さらに、東日本震災復興支援のため、特定非営利活動法人（NPO法人）と連携してICTを活用した各種支援活動を行っております。また、富士ソフト企画株式会社は、数多くの精神障がい者を雇用する特例子会社として、そのノウハウを活かした勤労支援プログラムを構築し、就労希望者をサポートするとともに、障がい者雇用に関する講演会やセミナーを開催する等、障がい者の就労拡大に向けた支援活動を行っております。

今後につきましては、既存事業分野の付加価値を一段と高めつつ、さらなる人員の強化を進め、スマートフォン・タブレット等のスマートデバイスやクラウドといった最新技術を積極的に活用する新たなサービスへの取り組みを進めることで、中期方針である「高付加価値事業構造への挑戦と創造」をより一層推進し、「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ」を目指して活動してまいります。

株主の皆様におかれましては、これまでと変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 会長執行役員 代表取締役 社長執行役員

野澤 宏 坂下 智保

基本方針

ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ

お客様のさらなる「付加価値の向上」「新たなビジネスの創出」「競争優位性の強化」に繋げる

中期目標

高付加価値事業構造への挑戦と創造

付加価値の向上

現場力強化
マーケット創出（含 海外）
販管コスト適正化



プロダクト化・サービス化推進

クラウド（C）（含：ネット関連）
ロボットテクノロジー（R）
モバイル（M）（含：様々なデバイス）

<基本戦略>

受託ビジネス基盤の強化

プライム化の推進

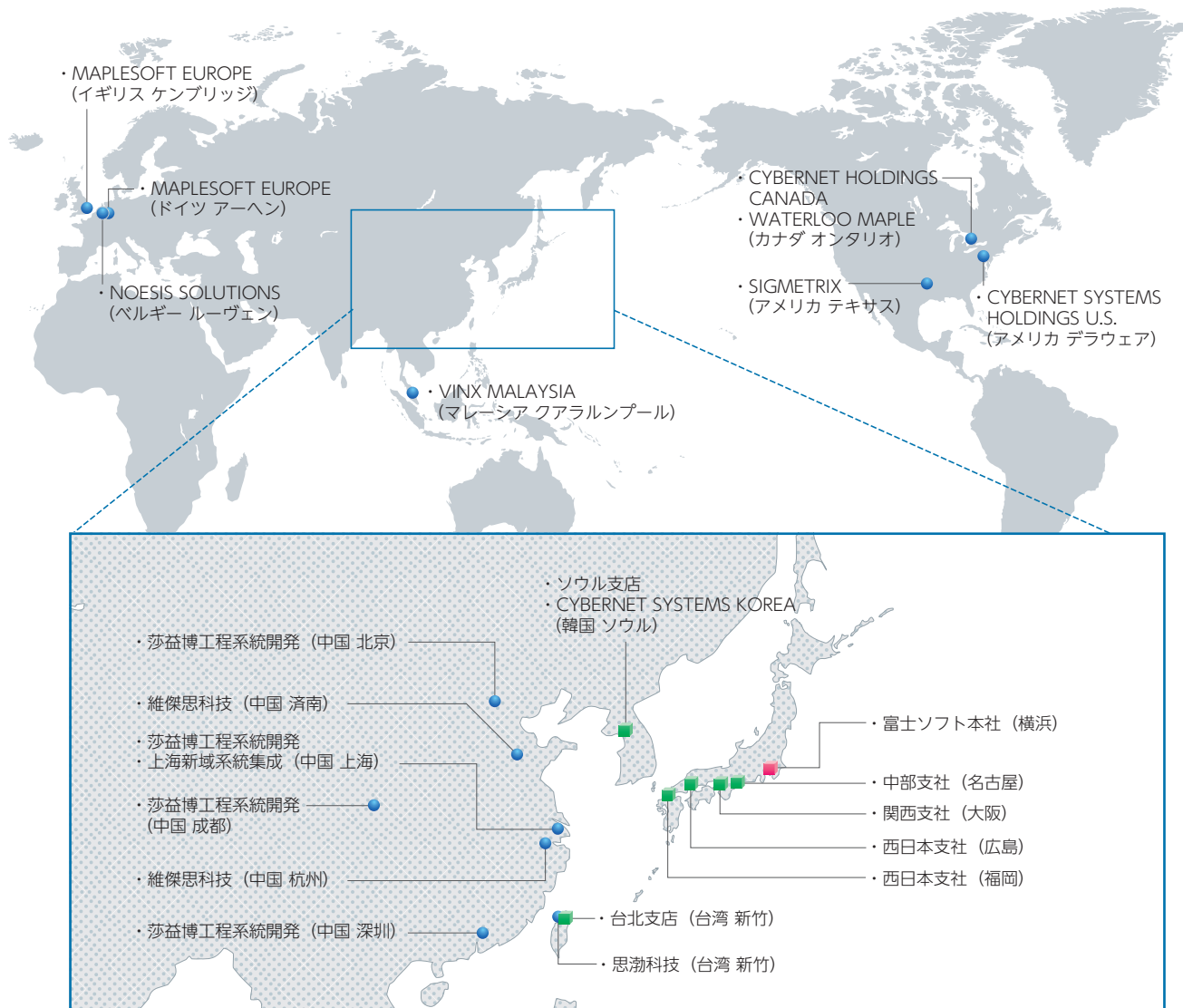
プロダクト化の推進

グローバル化の推進

グループ力の強化

グローバルネットワーク

■ 富士ソフト本社 ■ 富士ソフト支社/支店 ● 富士ソフトグループ企業



招集通知

株主総会
参考書類

添付書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告書

株主通信
(参考)

トピックス

TOPICS

1

マイクロソフト関連ビジネス、自動車関連ビジネスの拡大

当社はマイクロソフト関連ビジネス、自動車関連ビジネスのさらなる拡大に向け、平成25年10月1日付でMS事業部、ASI事業部（ASI：Automotive System Integrationの略称）を新設しました。

マイクロソフト関連ビジネスの一環として、平成26年2月より中国で「らくらくアップグレード for Windows」の販売を開始しました。「らくらくアップグレード for Windows」は、平成26年4月にサポート期間が終了するWindows XPからWindows 7 / Windows 8への移行を支援するサービスです。当サービスでは、お客様環境の調査を経て、移行環境に合わせたDVDをPCに挿入し再起動するだけで、移行作業が完了し、速く簡単に安心して、ワンステップでアップグレードすることができ、コスト削減に繋がります。中国での販売活動は、当社から関連会社の維傑思科技（杭州）有限公司が「らくらくアップグレード for Windows」の提供を受けて行います。富士ソフトグループは、マイクロソフト関連ビジネスのさらなる拡大を図るとともにお客様の生産性向上に取り組んでまいります。

TOPICS

2

BYOD推進企業としての取り組み

当社は、4,000人を超える社員にBYOD（Bring Your Own Deviceの略称）を先駆けて導入しているBYOD推進企業です。当社は私物デバイスを活用したNEWワーキングスタイルを実現するツールとして「smartBYOD」を開発し、通話のみならず通信の公私分計や、プライバシー情報の保護に優れた安心して利用できる環境を提供しています。私物デバイスから勤怠報告・経費申請等を利用し業務効率を高め、コスト削減や生産性の向上、事業継続性（BCP）の確保はもちろんのこと、使い慣れたIT機器を利用することで、社員の利便性や仕事に対するモチベーションの向上、在宅勤務の推進によるワーク・ライフ・バランスの向上を実現してまいります。今後も、企業や個人が抱えているプライバシーの安全性や費用の課題をいち早く見つけるために、当社が先進的事例をつくっていき、自らの運用経験に基づき、BYODの運用方法からアプリ開発に至るまで、ユーザを総合的にサポートすることを強みとしてまいります。

TOPICS
3

3種類のOSに対応のmoreNOTE

moreNOTE（モアノート）は、ドキュメントや動画、画像などをサーバーで一元管理し、タブレットやスマートフォンからセキュアに、かつ簡単にメンバー間で情報共有・閲覧できるサービスです。

平成25年10月1日より販売開始しているVer4.0では、iOS、Windows 8に加えAndroidにも対応し、3種類のOSが混在する環境でもご利用いただけます。これにより、企業でのタブレット/スマートフォンの選択肢が大幅に広がり、より多くの業種業態で選ばれる製品となりました。

当社は、今後も企業のモバイル環境導入/活用を支援いたします。

TOPICS
4

第1回PALROコンテスト開催



コミュニケーションパートナーロボットPALRO（パルロ）

当社のコミュニケーションパートナーロボットPALRO（パルロ）は、平成22年3月に教育機関向け、平成24年6月からは高齢者福祉施設向けに販売を開始しご利用いただいております。当社が取り組んできた知能化技術の実用レベルを実感いただくこと、また、未来のロボットのあり方を参加者と一緒に考えることを目的に、「高齢者が喜ぶパルロ」「家にパルロがいたら？」の2つのテーマのもと、「アイデアコンテスト」「プログラミングコンテスト」を、平成25年6月から11月にかけて実施いたしました。平成25年12月には「第25回全日本ロボット相撲全国大会」にてコンテストの表彰式を行い、優勝者には賞金と副賞としてパルロ本体を授与いたしました。

トピックス

TOPICS
5

第25回全日本ロボット相撲全国大会開催

～INTERNATIONAL ROBOT SUMO TOURNAMENT 2013 プレ大会同時開催～



第25回全日本ロボット相撲大会ポスター



ロボット相撲対戦の様子

平成25年12月、国技館にて、当社主催のもと第25回全日本ロボット相撲全国大会を開催いたしました。また、本大会の優勝者と、海外のロボット相撲大会の上位入賞者で、ワールドチャンピオンを決定する「INTERNATIONAL ROBOT SUMO TOURNAMENT 2013 プレ大会」を同時開催いたしました。今年で25年、四半世紀の間、途絶えることなく続けてきた全日本ロボット相撲全国大会は、「ロボット作りを通して『ものづくり』の楽しさを知ってもらう場を提供する」ことを目的に開催しております。近年、当社が考案したロボット相撲大会は海を渡り、海外でも相撲ロボットの製作はロボットテクノロジーの習得に適していると高く評価され、世界各国でロボット相撲大会が開催されるようになりました。当社は世界各国の大会に赴き、招致活動を実施してまいりました。その結果、6ヶ国（メキシコ・ブラジル・トルコ・ラトビア・エストニア・モンゴル）から選手及び関係者43名が来日、プレ大会を盛大に開催いたしました。世界各国の皆様にご当社の取り組みを知っていただくとともに、『ものづくり』を通してその楽しさを知っていただくことができました。当社は今後もロボット相撲大会を通じて、さらに多くの世界中の皆様にご『ものづくり』の楽しさを知っていただき、またロボットテクノロジーを学ぶきっかけとして本大会が末永く続けられるよう、尽力してまいりたいと考えております。

富士ソフトのCSR

基本理念

- もっと社会に役立つ
- もっとお客様に喜んでいただける
- もっと地球に優しい企業グループ

富士ソフトグループは、「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ」を目指して活動していきます。



富士ソフト本社ビルエントランス モザイク壁画「不二」

障がい者雇用の推進

当社は特例子会社である富士ソフト企画株式会社を通じて、積極的な障がい者雇用に推進しています。富士ソフトグループ7社に特例子会社制度を適用し、富士ソフトグループ全体の雇用率は2.12%となっています。富士ソフト企画株式会社は、勤労支援プログラムの構築や、障がい者雇用に関する講演会やセミナーの開催等、障がい者の就労拡大に向けた支援活動を行っております。平成21年、平成23年には、職場改善好事例 厚生労働大臣賞（最優秀賞）を受賞しました。



障がい者職業訓練の様子

被災地支援（ボランティア）の取り組み

当社社員は、NPO法人「IT工房ひのき」主催イベントを通して、様々なボランティア活動に積極的に参加しています。東日本大震災の被災地のみならず、伊豆大島の台風26号災害ボランティアなど活動の範囲を広げています。

<平成25年11月～12月の取り組み>

- 伊豆大島の台風26号災害ボランティア
- 岩手県宮古市で震災の被災者向けのパソコン教室

に指導員として参加



伊豆大島の台風26号災害ボランティアの様子

※moreNOTE、PALROなどの名称は富士ソフトの日本及びその他の国における登録商標です。その他すべての名称は、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。